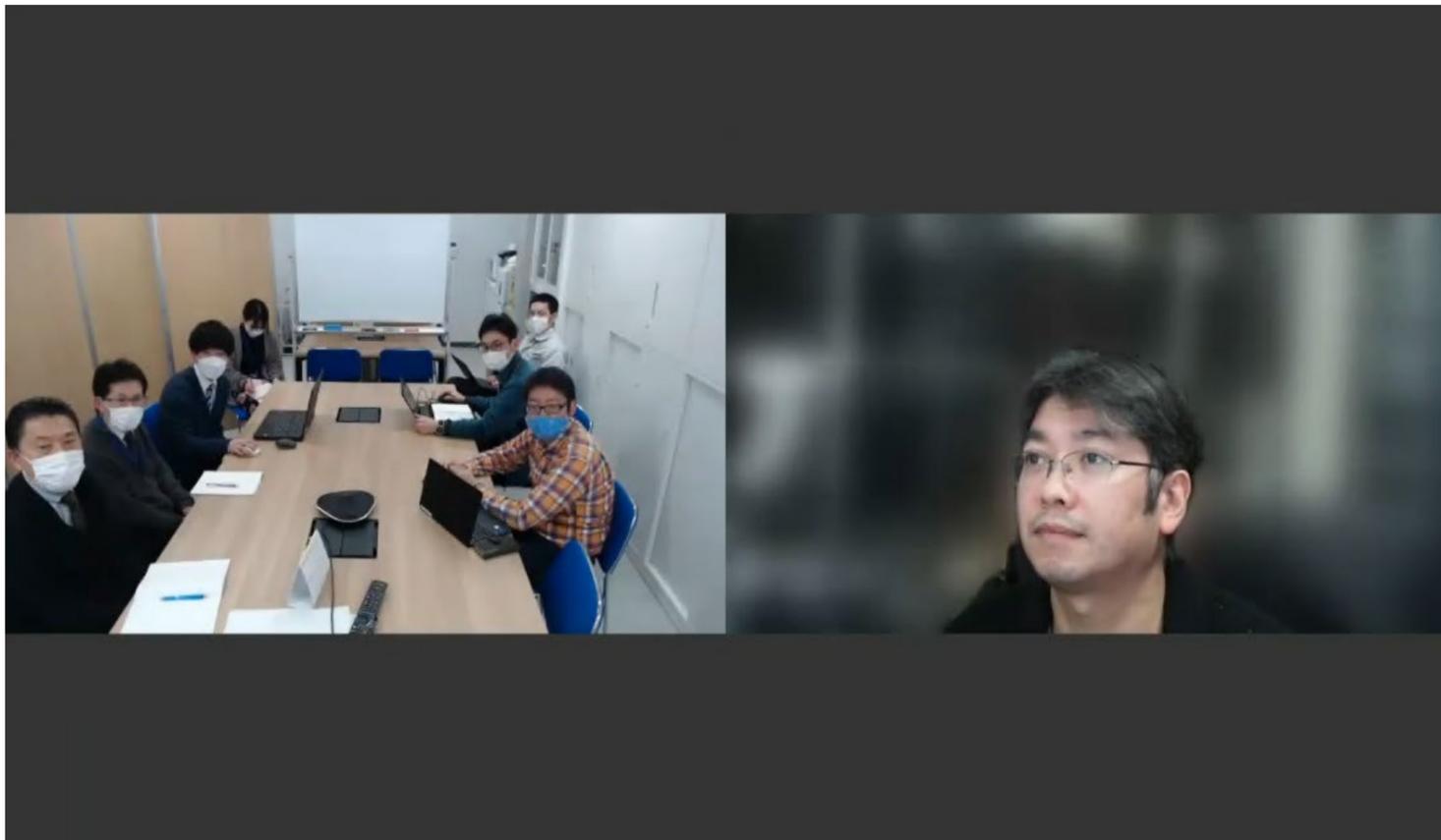


(一財) 全国地域情報化推進協会 御中		報告日	2022年2月21日		
		派遣決定番号	[REDACTED]		
地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (3日目)					
地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。					
記					
1. 申請団体情報					
1-1. 申請団体					
団体名	長野県市町村自治振興組合			代表者名	牛越 徹
担当者部署	電子自治体推進担当			連絡先電話番号	026-232-4921
担当者役職	事務局次長	担当者氏名	金原 平八	連絡先E-mail	[REDACTED]
住所	380-0871 長野県長野市西長野加茂北143-8				
2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望 支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。					
アドバイザー	遠藤 守				
評価	大変よい				
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	研修参加者は13団体17名と少ないことから参加者を増やす工夫が必要であるが、ブレイクアウトセッションなど対話を深める方法が効果的であった。また、企画担当や情報担当からデータを所管する原課への展開は引き続き課題であると感じている。データ1に対して施策10になるような取り組みが必要というご指摘をいただきましたが、国の計画や他県、他団体の取組事例の紹介もいただき視野を広げることができた。まずは、できることを継続していくことが大切であるとのことご指摘をいただいたことから、実現可能なステップを設定し、着実に実施していきたい。				
アドバイザーへの要望事項	今後も機会をみつけてお声がけするので、講演等よろしくをお願いします。				
3. 地域情報化アドバイザー派遣実績					
	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2022年2月16日	15時30分	17時00分		90
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			
4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可					
掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可				
5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果					
5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】			人数	
	県(3)及び当組合職員(4)			7人	
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	市町村にとってはオープン化に関する庁内調整やデータ整備に係る稼働がハードルとなっており、オープンデータの取組に熱心な数団体以外は取組が停滞しているように見受けられる状況。県としては、取組率100%は達成したものの次のステップの展開について、前述のとおり市町村職員の状況を考慮すると高い目標を掲げての推進はしづらい状況。				
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	取組率100%達成後の目標設定及び取組方針の醸成、拡充・拡大研修の具体的な内容・進め方を決定する。				
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	広域連携を目指していくために、県や組合の会議等機会あるごとに短時間でも良いのでDXに係るオープンデータが果たす役割に関する講演や取組事例発表、Webサイトへの事例掲載等の広報活動、イベント紹介などを行い、少しずつでも継続的に自治体職員に「オープンデータ」を浸透させていくのがよいとご指導をいただいた。				
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	取組率100%達成後の目標設定及び取組方針の醸成、拡充・拡大研修の具体的な内容・進め方について、まずは地道にすそ野を広げる活動が必要であること。また、県や組合において目標設定や取組の計画が必要であると理解した。				
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。			⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない	
	地域で連携することで、オープンデータ提供の継続と利用者目線に合ったデータ提供(団体の領域を超えた広がりのあるデータ、利用者のニーズに合うデータ等)ができそうな予感。次にすべきことが見えてきたことが成果。				

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	県及び組合で目標設定が必要	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加団体はオープンデータに積極的な団体のため、概ね高評価。参加団体、参加者数を増やす工夫が必要 別添「アンケート結果_オープンデータの拡充及び活用推進研修」参照	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	拡充・活用に関しての予算は各市町村が確保、組合は研修をできれば本支援の枠組みで継続していきたい。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子



This section contains two screenshots from a presentation. The left screenshot shows a survey analysis tool interface with two charts. The right screenshot shows a 3D topographic map of a region with various colored overlays.

1. 開催時期について

適当	11	91.67%
適当でない	1	8.33%

9月までを希望

2. 研修時間について

長い	0	0.00%
適当	12	100.00%
短い	0	0.00%

3D Map: オープンデータ拡充研修参加町村